

良い年をお迎えください

教頭 角 玲子

年の瀬が押し迫ってまいりました。気がつけば 2022 年ももうすぐ終わりです。岩桜祭から始まった岩戸養護学校の2学期ですが、防災宿泊、校内実習、現場実習、修学旅行など予定通りに行事や教育活動を実施し、無事に2学期の終業式を迎えることができました。ご協力いただいた保護者や地域の皆様には感謝申し上げます。2023年が良い年となることを祈りつつ…。どうぞ良い年をお迎えください。

#### <三校交流会>

12月5日に岩戸養護学校(肢体不自由教育部門)、武山養護学校(肢体不自由教育部門)、横須賀市立養護学校の3校による三校交流会が行われました。昨年度に引き続き、今年度もオンラインによる交流となりました。各校、クイズを交えるなど、オンラインならではの工夫を凝らし、学校紹介をいたしました。1時間程度でしたが、とても楽しい交流となりました。来年こそは実際にお会いできたらと思います。

#### <パラスポーツ教室>

12月7日、今年も地域の皆様をお招きし、パラスポーツ教室を行いました。今年には15名の地域の方にご参加いただきました。知的障害教育部門1年生と肢体不自由教育部門、地域の皆様混合で8チームに分かれ、ボッチャを行いました。部門も年齢も敵味方も関係なく、「〇〇さんが頑張って!」とお互いに声をかけ合う様子も見られ、和やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごすことができました。参加された地域の皆様にも「楽しかった」と感想をいただきました。これからも地域との交流の機会をもっていけたらと思います。



#### <プログラミング教育>

先日、国立特別支援教育研究所との連携により、本校職員向けにプログラミング教育の研修が行われました。「embot」という教材を使い、iPadでプログラミングし、ダンボールの人形を操作するものです。その「embot」を使い、あるクラスでプログラミングをする機会をもつことができました。生徒たちは人形の動きを確かめながら、ときには教師のアドバイスをもらいながら、自分が人形にさせたい動きをイメージし、プログラミングしていました。ある生徒は「京急の音を作りたい!」と言って、音階や速度を一つひとつ試しながら自分のイメージするものを作りあげました。その様子を見て、自由な発想や思考力を育むことができるプログラミングに教育の可能性を感じました。

